



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2023年02月13日 第1105号「週刊五十嵐レポート」

自分で考える力

2月10日付朝日新聞、「若者の才能見逃さない」(日本ハムファイターズGM補佐兼スカウト部長大淵隆氏のインタビュー)。自身はプロ経験はなく、会社員や教師を経て転じた。伸びしろの極め方、才能を開花させる方法を聞く。

選手をコンピュータになぞらえる。「ハード」が身体能力や技術だとすれば、「OS(基本ソフト)」は考える力や性格。ハードが多少劣っても、OSがウインドウズ3か10かでは全く違う。プロ野球の一軍、大リーグというソフトを回せるかはOS次第。球速や身体能力など、見えるデータは評価の確認には使える。大事なものは数字にならない、「考える力」「強い思い」といった「見えないもの」で焦点を当てるのが我々の仕事。たとえば、伊藤大海(ひろみ)投手。彼は飛び抜けた身体を持っているわけでもないのに考える力で結果(プロ入り2年連続2ケタ勝利)を出している。

新人の入団時、「君の最高のコーチは自分自身。自分の中に最高のコーチを育てられるかがとても重要」と伝える。大人の指示や命令で活躍しても長続きはしない。ゴールを設定し、自分で計画し、練習する必要がある(PDCA)。そのとき「最高のコーチ」の知識やレベルが低くては、選手は成長しない。

野球の上達を通じて、その後も成長できるための基礎を身につけるプログラムを始める。毎日日誌をつけることから始まる。インプットしたものを自分の中で改めてクリエイトしてから、書いたり話したりアウトプットする。これができれば野球以外でも活躍できる。気づいてもらうための環境を用意する。

孔子は、学んだけで自分で考えなければ、迷ってしまい、自分の考えだけで学ばなければ、独りよがりになって危ないと言っている。また、人は生まれたときは大差がないが、その後の学びで大差がつく、そして生涯学びであると言っている。

伊藤大海投手はオフに渡米し、球団先輩のダルビッシュ有と一緒にトレーニングに励み、多くのことを吸収した。探求心や向上心は人一倍強い。

ビジネスでも通じるところがある。

ちょっと
気になる出来事

2月7日付朝日新聞、「食品輸出額1.4兆円」という記事。農林水産省は2022年農林水産物・食品の輸出額が1兆4148億円(前年比14.3%増)と発表。ホタテ、ウイスキー、ミルクを含む牛乳・乳製品などが大きく伸ばした。

2月11日付日経新聞、「農水産物輸出家庭消費をつかむ」。農水産物の輸出が好調に推移。円安による割安感が追い風となり、10年連続で過去最高を更新。伸びが顕著だったのが、ホタテ。輸出量は12万7805トンと10.5%伸びた。鮮度を高める工夫で市場を広げているのがコメ。香港とシンガポールで全体の5割を占める。

鶏卵の輸出量は3万645トンと前年比39%増、香港向けが輸出量全体の9割を占める。出荷価格は日本国内より1割高い。香港では卵かけごはんを楽しむ人からの引き合いが多い。

高品質の農水産物を輸出し、中程度の品質を国内向けにする。理に合っている。結果「利」が生まれる。客層を選定することは戦略の一つ。



一口メモ
知識

軽拳(けいきょ)妄動(もうどう)は失敗のもと

鹿に即(つ)くに虞(ぐ)なく、ただ林中に入る。

鹿を追い、狩猟の道案内人(虞ぐ)もなく、軽々しく林に入れば迷ってしまう。

鹿は利益を意味し、利に迷うことの喩え。

利益だけを目当てに儲け話に軽率に乗るのは、林の中で迷うようなもので、決して利益は得られない。

つまり、自分の知らない分野でうまく利益を得ようなどと思っても得られるものではない、という教えになっている。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

